

令和6年度私立学校初任者研修関東地区千葉県研修会実施概要  
 ～私立学校教員としての心構えの体得と実践的指導力の育成～

実 施：一般社団法人千葉県私立中学高等学校協会  
 会 期：令和6年6月4日（火）～6日（木） 宿泊研修  
 会 場：ホテルグリーンタワー幕張（千葉県千葉市）  
 参加人員：76名

参加対象者：千葉県私立中学高等学校協会に加盟する私立中学校・高等学校・中等教育学校に新たに採用された教員（含経験者）及びそれに準ずる教員（近年の採用教員を含む）

【日程細目】

第1日 6月4日（火） [全体会場：4階 ロイヤルクレセント]

9:00	受 付
9:10	開 会 式 主催者挨拶 開催県代表挨拶 日程内容説明 指導員紹介 司会：千葉県私立中学高等学校協会事務局 一般財団法人日本私学教育研究所 初任者研修等事業検討委員 田原俊典 千葉県私立中学高等学校協会 会長 佐久間勝彦 千葉県私立中学高等学校協会 副校長・教頭会委員長 島田達彦
9:45	講演① 演 題 「私学教員の心得（哲学する教師たれ）」 講 師 平田史郎 司会：千葉県私立中学高等学校協会事務局 千葉県私学教育振興財団 理事長 国府台女子学院中学部・高等部 学院長
10:45	休 憩
11:00	研修Ⅰ 実践発表 テーマ 「アクティブラーニングによる授業実践」 指導員 加藤 究 日本体育大学柏高等学校 教諭 司会：千葉県私立中学高等学校協会事務局
12:00	昼 食
13:00	談 義「教科別討議」① （分科会「教科指導等で抱えている悩み等について」） 総 括 島田達彦 二松學舎大学附属柏中学・高等学校 副校長 指導員 【国語】笹原明広 東葉高等学校副校長・早川公敏 成田高等学校 教頭 福田吉高 日本体育大学柏高等学校教頭・小平紀男 志学館中等部 副校長 【数学・情報】永野英和 茂原北陵高等学校教頭・白水 淳 日出学園中学校 教頭 【英語】清水研二 わせがく高等学校 副校長 【社会】鶴澤賢治 桜林高等学校 副校長 【実技・その他】高橋健志 植草学園大学附属高等学校 副校長 【理科】森 寿直（教科専門指導員）二松學舎大学附属柏中学・高等学校 教諭
13:50	休 憩
14:05	談 義「教科別討議」② （分科会「教科指導等で抱えている悩み等について」） 指導員 談義「教科別討議」①同様指導員
14:55	休 憩・移 動
15:10	研修Ⅱ「事前アンケートに対するディスカッション」 （学習指導・進路指導・ホームルーム〔学級経営〕について） 8グループに分かれ冒頭60分はグループごとにディスカッション 総 括 島田達彦 二松學舎大学附属柏中学・高等学校 副校長 指導員 グループA：清水研二・白水 淳／グループB：笹原明広 グループC：永野英和／グループD：早川公敏／グループE：鶴澤賢治 グループF：福田吉高／グループG：高橋健志／グループH：小平紀男 ※指導員の所属・職名は教科別討議参照
16:40	休 憩
16:55	自由討議についての説明 島田達彦 二松學舎大学附属柏中学・高等学校 副校長
17:10	

17:10	休憩・移動	
17:15	自由討議① 分科会「2日間の研修を基に自分達で考える学校づくり」 指導員 研修Ⅱ同様指導員	
18:30	夕食（懇談会） [会場：20階スカイバンケットルーム] 司会：千葉県私立中学高等学校協会事務局 千葉県私立中学高等学校協会副会長・教頭会 委員長 島田達彦 千葉県私立中学高等学校協会 副会長 川並芳純 わせがく高等学校 副校長 清水研二 東葉高等学校 副校長 笹原明広	
19:30	挨拶	

第2日 6月5日（水） [全体会場：4階 ロイヤルクレセント]

8:30	朝食	
9:15	談義「グループ討議」① (分科会「普段から学校で抱えている悩み等について」) 指導員 研修Ⅱ同様指導員	
9:30	休憩	
9:30	講演② 司会：千葉県私立中学高等学校協会事務局 演題 「社会人のためのビジネスマナーについて」 講師 鈴木勝美 (株)ミズ・インターナショナル チーフインストラクター	
10:50	休憩	
11:05	講演③ 司会：千葉県私立中学高等学校協会事務局 演題 「『生徒指導』について」 講師 遊間千秋 駿河台大学心理学部 特任教授 元千葉県警察本部生活安全部少年課少年センター 上席相談専門員	
12:05	昼食	
13:00	講演④ 司会：千葉県私立中学高等学校協会事務局 演題 「教員の本分について」 講師 森 章 拓殖大学紅陵高等学校 校長	
13:50	休憩	
14:05	自由討議②・③・④ 分科会「2日間の研修を基に自分達で考える学校づくり」 指導員 研修Ⅱ同様指導員	
18:00	休憩 14:30～14:45 16:15～16:30	
18:15	夕食（自由討議の各グループの会場）	
19:00		

第3日 6月6日（木） [全体会場：4階 ロイヤルクレセント]

8:30	朝食	
9:20	自由討議⑤ 分科会「2日間の研修を基に自分達で考える学校づくり」 指導員 研修Ⅱ同様指導員	
9:35	休憩・移動	
10:00	総合討議（プレゼン発表）の進め方について 島田達彦 二松學舎大学附属柏中学・高等学校 副校長	
14:15	総合討議「2日間の分科会でグループごとに考え討議してつくった自分達の学校について グループごとにプレゼンテーション」発表・報告 総合司会 島田達彦 二松學舎大学附属柏中学・高等学校 副校長 指導員 研修Ⅱ同様指導員 (11:45～12:30 昼食・休憩)	
14:30	休憩・移動	
15:00	談義（グループ討議）② (分科会「3日間の研修会を振り返って」) 指導員 研修Ⅱ同様指導員	
15:15	休憩	
15:45	総括・講評 島田達彦 二松學舎大学附属柏中学・高等学校 副校長	
16:00	休憩	
16:20	閉会式 開催県代表挨拶 千葉県私立中学高等学校協会副会長 川並芳純 主催者挨拶 一般財団法人日本私学教育研究所初任者研修等事業検討委員 田原俊典 修了証授与	

## 概要 ※講師、担当者の所属・職名は日程細目参照。

【開会式】開会式ではまず田原氏が主催者挨拶で、これからの社会では創造性を養うため非認知能力が必要となり、そのためにもオンラインではなく今回のような対面研修で非認知能力を高めてもらいたいと話した。

続いて佐久間氏より挨拶が行われ、建学の精神に基づきながら 3 つの密「親密、緻密、濃密」な教育で子供達に高校生活を送らせてほしいと話した。



田原俊典氏

【講演・実践発表】①「私学教員の心得（哲学する教師たれ）」平田史郎 氏／②「社会人のためのビジネスマナーについて」鈴木勝美 氏／③「『生徒指導』について」遊間千秋 氏／「教員の本分について」森 章 氏／実践発表「アクティブ・ラーニングによる授業実践」加藤 究 氏

〔講演〕平田氏は、理想的な教師を目指すより、目標を持って生きる大人のモデルとして振る舞うことが大切であり、そして人生を豊かにするには、創造的な力、旅を志向すること、恋をすることも大切であるということを哲学・宗教的な観点から話された。鈴木氏はマナーとは人は決して一人では生きていけないことから今後の人間関係を築いていくために必要であると話され、身だしなみやお辞儀の仕方等について実習を交えて説明された。遊間氏は



平田史郎氏(講演①)

生徒指導提要在改訂で生徒指導が大きく変わってきたことを説明され、生徒指導は生徒を変えることではなく理解することであり、人格の否定はせず、ポジティブなことにも焦点をあて、許容できないことは根拠を示して理解させることが必要であると話された。森(章)氏は今回の研修会で一番大切なことはネットワークであること、参加した先生方が「縁」で結ばれたことを話され、まとめとして「当たり前のことを馬鹿にしないでちゃんとやる(ABC)」ことが大事であるとした。〔実践発表〕加藤氏は開始直後に「教育活動で一番大切にしていることは何か」をまず参加者 1 人ずつ考えさせ、そして隣とシェアし、さらに「アクティブ・ラーニングの問題点」を 4 人 1 組、さらにグループが 3 つ集まり話し合った内容を発表し、その後 4 人グループに戻り、目的を達成するための適切な方法を話し合わせた。

【談義「教科別討議」(分科会「教科指導等で抱えている悩み等について」「事前アンケートに対してのディスカッション」)】教科毎に 6 グループに分かれ、教科の指導等で抱えている悩み等について話し合った。続いて新たに 8 グループに分かれ、前半はグループごとに事前アンケート(学級経営、生徒指導、進路指導)に対してのディスカッション、後半はそれぞれのグループで話し合った内容の発表を全体で行った。発表では生徒指導や進路指導における保護者との連携の内容も多くあった。

【自由討議「2 日間の研修を基に自分達で考える学校づくり」】8 グループに分かれ「2 日間の研修を基に自分達で考える学校づくり」を内容とした自由討議を行った。新設私立学校の条件(前提)を令和 7 年 4 月に千葉市・市原市の地域に開校する、現在の社会・経済情勢の範疇で新学習指導要領を踏まえた学校とした。3 日目に総合討議として、自分達のつくった学校についてグループ毎に発表が行われた。発表は学校説明会を想定して行われた。総合討議後は再度、グループに分かれ 3 日間の研修の振り返りを行い、最後に島田氏より総括・講評で、参加者の研修を進める中での変化、学んだこと、これからの期待等を述べ、まとめとして「生徒がすでに持っているにもかかわらず持っていることに気づいていないものをどうやって生徒自身が使えるようにしていくか、そこを援助するのが教育である。」と話された。



自由討議

【閉会式】研修会閉会式では川並氏、田原氏がそれぞれ実施県、主催者を代表して挨拶を行った。

## 参加者アンケートより

### 講演①「私学教員の心得（哲学する教師たれ）」（平田先生）

- 「自分とは何者か」という問いを持ち続けるからこそ、生徒に一人の人間としての教員の姿を示すことができると感じた。
- 「自分の手でものを創る」という言葉が深く刺さった。
- 「心とは人間が生き残るための道具である」という言葉が心に刺さった。
- 「理想的な大人のモデル」でなくても、欠点を含めて子供達に「充実した人生を送っている大人のモデル」を見せることで良い、と言われて肩の荷が下りた。

### 講演②「社会人のためのビジネスマナーについて」（鈴木先生）

- 「マナーは相手への思いやりを伝えるための手段である」という根本的な部分を生徒にも伝えていきたい。
- マナーは人間関係を良くし、自分の人生をより豊かにするために行うものだと言った。
- 「挨拶するだけでは挨拶ではなく、笑顔が伴ってようやく挨拶となる」という言葉が印象に残った。
- 「教員である前に社会人であれ」という言葉が印象的だった。

### 講演③「『生徒指導』について」（遊間先生）

- 生徒一人一人にあった生徒指導を行うことが大事だと思う。また現在の生徒指導と過去のものとは内容もやり方も大きく変わっているので、生徒指導という名称では無く、生徒対話などにすべきだと思った。
- 生徒指導とは、風紀や生活態度を注意するだけでなく、生徒の可能性や良さ・個性を最大限に発揮できるようにサポートしていくものである。
- 校則というルールがある以上、「守る」ということを教える。生徒を変えようとするのではなく、まず理解することが大切。
- 生徒指導というと叱ることに意識が集中してしまう時もあったが、子供の意見を引き出し、前を向かせる視点を忘れてはならないと思った。
- 問題を起こした生徒以外にも生徒指導は必要だと分かった。

### 講演④「教員の本分について」（森先生）

- とても引き込まれる内容だった。縁の話や、「人を指すと自分に返ってくる」、「ABC」といった話は道徳の教材としても生かせるものである。
- 私の学校も「ご縁」を大切にしている学校なので、改めて5つの縁を大切に、「ABC」を実践して、権力を持つのではなく、「権威」を持てるように頑張りたい。
- 権力よりも権威である。教師としての権威は、生徒との信頼関係から生まれると思う。
- 五人には五つの縁がある、人を指して言った言葉は自分に返ってくる、この2つが印象に残っている。

### 講義「アクティブ・ラーニングによる授業実践」（加藤先生）

- ALは手段の目的化になりつつある状況の中で、わざわざ使うのではなくゴールは何かを見据えていくことが大切だということを再認識した。
- ヒントを出しすぎて、子供達の自発的な学びを妨げてしまうかもしれない…という意見にとっても共感した。
- 教員が話すのは冒頭5分、結末5分のみ、というのはかなり衝撃だった。